



月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
FAX 043(224)7197 番

2001.1.17 No. 5254

反動化する司法を打ち破り、国鉄闘争に勝利しよう

動労千葉弁護団総会を開催 (1/11)

一月十一日、十三時から、千葉市・パークサイドホテルにおいて、「二〇〇一年動労千葉弁護団総会」が開催され、一〇四七名(動労千葉一二名)の解雇撤回闘争をはじめ、全ての裁判及び労働委員会闘争勝利に向けて動労千葉及び弁護団が一体となつて全力で闘いを展開することを確認した。

全ての裁判・労働委員会闘争に勝利しよう!

弁護団総会は、中野委員長からのあいさつを受けた後、葉山顧問弁護団長から「全ての裁判、労働委員会闘争に勝利するため、動労千葉弁護団は奮闘しよう」とのあいさつが行われた。田中書記長からは、動労千葉の三大方針に基づいて「一〇四七名闘争、「シニア制度」―鉄道

国鉄闘争を中心に集中議論

その後、現在進行している裁判・労働委員会の事件について担当弁護士からのレポート報告を受け、討論が行われた。討論の中では、とりわけ国労の「四党合意」をめぐる問題やJR総連革マルの分裂問題、「シニア制度」等に関して集中的な議論が行われた。

司法がますます反動化する状況の中で、原則的に闘いぬく動労千葉の闘いはますます重要になってきていることを確認し、弁護団総会は成功裡に終了した。

シニア制度地労委第三回調査へ!

1月30日(火)

10時45分 地労委集合(傍聴)

13時 「シニア制度」―検修・構内外注化阻止、

JR総連解体

動労千葉総決起集会

車両技術分科会第十二回定期委員会

一月二十日(土) 十三時 DC会館

検修関係組合員の全力結集を

反対同盟二〇〇一年旗開きを開催

反対同盟は、一月八日成田市内において新年旗開きを開催した。この日反対同盟は旗開きに先立ち暫定滑走路粉砕の敷地内新年第一波デモを闘い多くの仲間が旗開きに合流した。

司会を伊藤信晴さんが行い、最初に鈴木謙太郎さんが「三四年間不屈に闘い続けてきた三里塚闘争も二十一世紀に入りました。意気軒昂と二期阻止―空港廃港へと前進します。政府はこの通常国会で土地収用法を改悪しようとしている。土地収用法改悪は有事法制・改憲攻撃そのものであり、三里塚闘争圧殺攻撃だ。反対同盟は土地収用法を改悪する通常国会に対して断固闘いを挑む。天神峰団結街道を守りぬき、東峰神社立木伐採を阻止する。軒先工事と対決し生活と権利を守りぬこう。三・二五全国集会に総決起することを訴える」という反対同盟の二〇〇一年闘争宣言を読み上げた。続いて北原事務局長が「三里塚は三十五年間実力でたたかってきた。これからは世の中全体をかえる闘いになると感じる。運輸省が建設省と一緒に国土地交通省となつたらさつそく土地収用法の改悪がスタートした。強制収用が乱発される時代は戦時中の再来ということだ。日本



がアジアへの侵略戦争にのめり込んでいった痛恨の歴史をいまこそ乗り越えなければならぬ。三里塚は反戦・反核の砦として闘ってきた。声あるものは声を力あるものは力を、死力を振りしぼって共に未来を切り開こう」とあいさつした。乾杯の音頭は敷地内の市東孝雄さんがおこなった。動労千葉からは本部と家族会が参加し、代表して田中書記長があいさつしJR総連と国鉄労働運動の状況と反対同盟と共にたたかう決意を表明した。全国から関西新空港反対住民や北富士忍草母の会をはじめとする住民団体、共闘団体、各大学の学生が連帯のあいさつを行なった。最後に萩原事務局長がまとめを行い、木内秀次さんの団結カンパローで旗開きを終了した。